



園長便り



2021年5月31日発行

セブンスデー・アドベンチスト石川教会附属 石川三育保育園

梅雨に入りしばらく経ちました。晴天が続くだいぶ暑い梅雨ではありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

沖縄県はコロナウイルスの影響により、4度目の緊急事態宣言が出されました。最近ではワクチンの話は聞くものの、未だに感染者数は増え続けています。収まる気配がなく、先行きの見えない不安が募ります。石川三育保育園におきましても、緊急事態宣言の中、気をつけながら保育を行っております。また、行事等を中止にする判断をするなど、皆様にもご迷惑をおかけしております。またしばらくの間辛抱が続きますが、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

コロナの影響によって、私たちの生活には大きな変化がありました。当たり前だった日常がガラッと変わりました。そのような状況が長く続くことにより、不安を感じたり、イライラしてしまったりすることがあるかもしれません。「コロナ疲れ」という言葉も言われるようになりました。変化に対応する日々に疲れを感じてしまうこともあります。

「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。」

ヘブライ13：8

私たちの世界は常に変化します。昨日までと今日とでは全然状況が違うことがあります。コロナウイルスは大きな変化のきっかけでもありました。世の中は、良い方向へも悪い方向へも変化していきます。聖書はそのような変化の世の中において、変わらないものを示しています。それがイエス様です。変わらないものは一つの基準・土台になり、頼ることができます。

イエス様はこのような教えを言いました。「大切なことは、神様を愛することと、隣の人を愛することです。」変わらないイエス様と同じように、この教えも変わることはありません。いつの時代になっても、どのような状況においても、とても大切な教えです。

長く続くコロナ禍にあっても、神様に頼り、乗り越えていきたいと思えます。そして、周りの人を愛していきたいとおもいます。各家庭においても、子どもたちにおいても、このような時だからこそ周りの人に優しく接することにより、光を輝かせていきましょう。

石川三育保育園 園長 松下晃大

